

ぎょうむそくほう

【ダイジェスト】

No.703

2026年3月26日

東海旅客鉄道労働組合

<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

業務委員会を開催

2026年度社員教育について議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION/Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

3月26日、業務委員会を開催し、「2026年度社員教育」について会社から説明を受けた。

2026年度は、教育機会の充実による社員の能力の更なる向上のために、それぞれの職責に応じた識見、技術力、マネジメント力を磨く研修を実施するほか、新人事・賃金制度を踏まえ、社員全員がチャレンジ精神と高い意欲を持って自律的に生産性の高い業務遂行ができるよう、組織を牽引する管理者層への教育機会を充実するなどの基本方針が示された。

議論では、現在、社内で利用している LMS (学習管理システム) のシステムを更新し、教育プラットフォームとして活用することで、効果的且つ効率的な教育研修を実施していくことや、LMSの機能を活用し教育の3本柱である「職場内教育訓練(OJT)」「集合研修」「自己啓発」相互間の連携を強化し各種教育施策の実効性を高めていく方針が示された。

また、「マイ・キャリアパス研修」については、多様な人材の活躍をより一層推進するため、隔年開催から毎年開催に見直すことが明らかになった。

提案活動については、「より一層社員の成長と会社の発展の双方に資するものとなるよう、1件1件の提案の質向上に取り組むとともに、今後の提案活動のあり方について検討していく」との会社の考えが示された。さらに、運転士研修については本年度と同様に計6日間(2回の週末と移転休暇)の準備期間を設けるとともに、研修修了日を火曜日から月曜日に繰り上げることで、研修後、元職場での勤務日が増えることも明らかになった。

JR東海ユニオンは『将来宣言』に基づいた労使関係をより強固にし、率直な意見交換を重ね、様々な課題の解決に主体的に取り組んでいく。

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。

2026 年度社員教育について

2026 年 3 月 26 日
東海旅客鉄道株式会社

1 2026 年度の主な取り組み

(1)教育機会の充実による社員の能力の更なる向上

人材育成の基本理念である「規律」・「技術力」・「一体感」を引き続き醸成していくとともに、変革・挑戦を担う人材として、視座高く、部門横断的に課題解決ができる多様な人材を質・量の両面から充足できるように育成する。中央新幹線を含めた3世代の鉄道事業の運営、経営体力の再強化に向けた様々な経営課題を見据え、それぞれの職責に応じた識見、技術力、マネジメント力を磨く研修等を実施するとともに、新人事・賃金制度を踏まえ、社員全員がチャレンジ精神と高い意欲を持って自律的に生産性の高い業務遂行ができるよう、組織を牽引する管理者層への教育機会を充実する。

- ① LMS（学習管理システム）を教育プラットフォームとして活用した教育研修の実施
- ② 経営環境の変化に対応する教育施策の展開
- ③ マネジメント力の向上を図る研修の実施
- ④ プロフェッショナル職の教育体系のブラッシュアップ
- ⑤ 人材ポートフォリオの多様化に資する研修等の実施
- ⑥ 「One STEP」活動・提案活動の推進

(2)「安全意識」、「規律・規範意識」の更なる醸成

当社の経営の根幹である安全の重要性、当社社員に求められる規律・規範意識に基づく自律的な行動を定着させるための教育を繰り返し実施する。

- ① 新入社員研修等における教育
- ② 各種集合研修における教育

(3)職場内・組織間における対話の量と質の向上

社員一人ひとりが生き活きと働ける職場環境を構築し、業務成果のスピードアップ、レベルアップを実現するため、各種研修において、ディスカッション等のカリキュラムを充実させ、対話力や他者の考えを受容する姿勢を磨き上げる。

職場内・組織間における対話の量と質の向上には、特に管理者層がキーマンとなることから、管理者層を対象とした研修等において、ポイントや留意点の解説等、実践的な教育を行う。

(4)若手社員の着実な育成

当社を取り巻く環境の急速な変化や技術の高度化、業務改革の推進等を踏まえ、若手社員の着実な成長に資する教育を実施する。

- ① N-OJTのブラッシュアップ
- ② 集合研修による技術教育の充実
- ③ 自己啓発による補完

(5)総合研修センターを活用したJR東海グループとしてのレベルアップ

JR東海グループ全体の社員教育の拠点である総合研修センターの人材や設備を活用し、グループ全体の教育のレベルアップに取り組むとともに、グループとしての一体感の醸成を図る。

- ① 当社主催研修へのグループ会社の参加促進
- ② グループ会社の教育機会の拡大

2. 研修計画

(1)新設する研修（13）

○研修体系変更に伴う新設

- ・リーダー研修
- ・経営職登用時研修（アセスメント）
- ・運転士1年次フォロー科（限定）（在）
- ・運転士3年次フォロー科（限定）（在）
- ・指導操縦者科（限定）（在）

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。

- ・車両機械特別講座（プロ職）
- ・機械データ分析基礎講座
- ・輸送担当者（列車監視限定）養成講座（幹）
- ・輸送担当者（列車監視限定）養成講座（時短）（幹）
- ・輸送担当者養成講座（列車監視限定解除）（幹）

○その他

- ・法務研修（刑法）
- ・機械施工監理講座
- ・電車線路設備設計技術科（在）

（2）再開する研修（11）

○隔年開講

◆車両・機械

- ・車両ATC科
- ・車両エンジン科
- ・車両台車科

◆電気

- ・CTC装置技術科（在）
- ・パワーエレクトロニクス技術科（幹）
- ・電車線路設備専門技術科
- ・転てつ装置・軌道回路技術科（幹）
- ・転てつ装置・軌道回路技術科（在）

○その他

- ・駅営業実務講座（プロ大）
- ・リニア機械入門講座
- ・法務研修（個人情報保護法）

（3）休講する研修（15）

○隔年開催

◆共通

- ・セルフマネジメント研修

◆車両・機械

- ・車両ATS科
- ・車両パンタ科
- ・車両運用基礎講座（幹）
- ・車両検修設備科
- ・車両構造科

◆電気

- ・電子制御装置技術科（在）
- ・変電設備技術科（幹）
- ・変電設備技術科（在）

○研修体系変更に伴う休講

- ・アセスメント研修

○その他

- ・法務研修（不動産関連）
- ・法務研修（労働関係）
- ・経営職社員パワーアップ研修
- ・看護管理者育成研修
- ・車両主任フォロー講座

（4）廃止する研修（6）

○その他

- ・リーダー研修（若手コース）

※確認内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。

- ・リーダー研修（中堅コース）
- ・課題解決スキルアップ講座（上級）
- ・マネジメント力向上研修
- ・ガス溶接技能コース
- ・テールゲートリフター特別教育講座

以上